

# パラアート (障がい者アート)

## 国際交流活動事業

公益財団法人 日本チャリティ協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-19 アーバン四谷ビル 4 階

### 助成事業の概要

今日、世界で目標にしている SDGs とサステイナブルな視点で当協会が活動推進してきた「パラアート」障がい者アートの発展を目指して、活動環境育成支援、その特性による芸術的表現の価値の認識、就労や収益による自立に向けた障害者 (児) の社会参加への促進を図り、国際交流展を中心に開催いたしました。

1 「2022 パラアート TOKYO」第 9 回国際交流展の開催

障害者のアート作品を集め専門家による選考を通じ、障害特性に応じた質の高いパラアート作品を発表展示しました。

(開催時期) 令和 4 年 9 月 1 日～ 5 日予定 (会期 5 日間)

(開催場所) 芸術劇場ギャラリー 1

2 「パラアートバーチャルギャラリー」(WEB 連動型展覧会)

WEB での開催は会場公開が中止になった場合にも鑑賞の機会を提供することが出来て国外や展覧会の会場に来れない方がたも気軽に鑑賞することが出来ます。

3 誰でも参加できるワークショップの開催  
コロナ禍でも対応できる、リモートや出前により提供しました。

### 事業の成果

多様な社会へ向けての障害者、障害児の社会参加へは継続的な活動環境育成支援が必要とされ

ています。

WEB の活用を助けスマホや SNS を日常的に使用する障害児の若い親世代にも受け入れやすくし障害児の参加を促し共存共栄の多様な国際社会に向け、コロナ禍においても、アクセシビリティな活動支援が出来ました。

1. 「2022 パラアート TOKYO」第 9 回国際交流展は 令和 4 年 9 月 1 日 (木) ～ 5 日 (月) 会期 5 日間、東京芸術劇場ギャラリー 1 において参加国 18 か国 2 地域 (香港・台湾) から絵画作品—日本 102 点 児童 18 点、海外 43 点 児童 8 点、書作品—日本 16 点 中国 6 点、韓国 10 点 (書画含) 計 208 点の入選作品を展示して、その中でも特に優秀な作品にはパラアート賞が授与され、1,185 名の方々に鑑賞いただきました。

2. <バーチャルギャラリー>の開設

インターネット上に 2022 バーチャルギャラリー — <https://virtualgallery.paraart.jp/2022/> を開設し、世界へ発信し、外国の出展者や会期中にコロナの影響で来場できない方々へ公開を行うと同時に、会期終了後も全作品の鑑賞ができるよう継続掲載し、多くの方々にパラアート作品の魅力を伝えることが出来ました。

3. <パラアートワークショップとリモートによる講習会>の開催

障害者だけでなく、だれもが参加できるワークショップを感染状況が落ち着いた 11 月 20 日に豊島区心身障害者福祉センター (大会議室)、東京都障害者福祉会館 (集会室 A オンラインライブ開催) でクリスマスや新年に向けたリースづく

りをパラアートスクール絵画・造形講師により実施出来ました。

参加して障害による違いが実感できた、障害者の方の発想が面白い、アートの楽しさを味わったなどの感想をいただきアートを通して交流が出来、障害理解に繋がりました。

また、会場に来れない方に WEB から参加できますようInstagramで発信し、気軽に視聴や参加でき、パラアートの魅力を多くの方に発信できました。

参加人数 会場 計 35 名 WEB 公開 参加者多数

## 成果の広報・公表

<「2022 パラアート TOKYO」第 9 回国際交流展広報等>

1 日本チャリティ協会ホームページ、2022 パラアートギャラリー新設掲載

- ・全出品作品等の紹介、広報活動

2 日本チャリティ協会広報誌「チャリティ・ニュース・クォーターリー」配付

- ・国際交流展の開催概要掲載による広報活動(発行部数：2,000部)

3 国際交流展報告書(図録)作成

- ・国際交流展図録送付による関係諸団体等への広報活動(発行部数：500部)

4 国際交流展の新聞掲載等

- ・としまテレビ広報及び新聞掲載

- ・アデルランスのラジオ番組において、パラアート活動の紹介

- ・大分パラアート展の広報 大分新聞、テレビ取材

5 「三井住友アセットマネジメント株式会社」でのパラアート賞受賞や優秀作品の展示

- ・社内ギャラリーでの展示及び広報活動

期日：令和4年9月20日(火)～9月30

日(金)

## 今後の展開

多様な社会へ向けての障害者、障害児の社会参加へはサスティナブルな芸術活動支援が必要とされています。

今後も障害のある方が芸術文化活動を通じて自己を表現し、社会とより広く関わりを持ち、その自立と社会参加を継続支援して、障害の有無に関わらず、お互いを尊重しながら共存共生の社会へ向けていくコンセプトで開催いたします。

WEBの活用を広げてSNSやInstagramを通じ多くの方々に周知や参加する機会を増やし、生活文化としての認知、また、芸術作品としての価値の認知、障害者の自立に向けた取り組みとして作者の収益を計り、希望者には即売の機会を作ります。

障害者の収益事業に繋げる機会を作ります。  
国際交流事業(「2023パラアートTOKYO(仮称)」国際交流展)の開催

会期：2023年12月予定 [5日間]

場所：芸術劇場 ギャラリー